

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	高次脳機能障害等啓発事業												
事業担当	所属	福祉保健部 障害者福祉課					所属長	山路 智子					
会計情報	事業コード	420381	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉援護費	会計	01 一般会計	決算付属資料	124	頁
施策体系	施策コード	050403	施策名	理解を深める啓発を充実させる									
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	福知山市障害者計画、第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	地域自立支援協議会運営事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	一般的にその障害名や症状等が知られていない「高次脳機能障害」への市民の理解を深めるとともに、当事者やその家族間の交流や情報交換を図る。												
対象者	市民	対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会京都実行委員会												
事業概要 (箇条書き)	・高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会の開催 ・京都府北部リハビリテーションセンター及び当事者家族の会主催事業の広報啓発												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	20	要約筆記活動謝礼										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	94	85	0	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	94	85	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	94	48	0	0				
	② 国支出金	0	25	0	0				
	③ 府支出金	0	12	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	94	85	0	0				
	③ 執行額	13	20	0	0				
	④ 執行率	14.0%	23.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常勤職員)	0.21/0	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,680	480	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,693	500	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費国庫補助金	実績金額	6	決算付属資料	18	頁
	特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費府補助金	実績金額	3	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	参加者数	人	73 / 110	0 / 120	150 / 120	/	120	120
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	会議開催回数	回	4/4	3/4	5 / 4	/	4	4
	単位あたりコスト		15.00	4.30	4.05			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害の知名度は低く、支援機関や連携についても不十分であるため、継続して周知啓発を図る必要がある。すでに中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」主催による研修会が開催されたり、平成30年度に京都府により設置された北部リハビリテーション支援センターによる研修会が開催されたりしている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・参加料は無料。予算は、学習会開催費用に充てている。 ・市民の理解を深めるとともに、当事者やその家族ニーズに沿った講師を呼ぶことができています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の会などと連携して継続実施することで、当事者や家族のニーズを把握しながら啓発活動を行うことができています。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>毎年、障害の概要説明のみに捉われず、リハビリテーションや先進事例の報告、家族支援についても発信するなど、当事者・家族のニーズを確認しながら啓発活動を行っている。 目標の参加者数は達成したが、一般市民の参加を増加させることが課題である。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>広く一般市民に周知が図れるよう他課との連携を含めて検討していく。 平成30年に京都府により設置された北部リハビリテーション支援センターとも連携を図り、啓発を進めていく。 北部リハビリテーション支援センターにより当事者や家族の交流、支援者の研修は充実してきているので、一般市民への啓発に重点を置くように当事者を含む関係機関と一緒に事業内容を検討していく。 事故や病気の後に誰にでも起こりうる障害であることを理解してもらうために、専門的な内容に偏らないよう講演内容の選定を図る必要がある。 令和2年度から地域自立支援協議会運営事業に統合した。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に地域自立支援協議会運営事業と統合した。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---